

長岡市廃棄物減量等推進審議会委員の
小林民雄さんに、枝葉・草のリサイクルに
ついてお聞きしました。

長岡・越路・三島地域では、燃やすごみとして処
理していた枝葉・草を、平成16年10月から資源物とし
て収集しています。

小林さんは、市が枝葉・草のリサイクルを委託してい
る(株)ホーネンアグリの代表取締役でもあります。

「私も、『豊かな土を創る』を理念として、
市町村等から持ち込まれた枝葉・草を原料に良質な
培養土を製造、販売しております。このため、金属
やビニール類が混じっているとリサイクルできませ
ん。混ぜないようにお願いします。」

市民の皆さんが、ごみステーションに出すときか
らリサイクルの輪が始まります。正しく分別して、
異物を混ぜないようにご協力をお願いします。

◆枝葉・草のリサイクルの輪◆

枝葉・草は約3ヵ月で培養土に生まれ変わります。



豊かな土
[元気な植物が育つ]
リサイクル培養土

各家庭からのせん定した
枝葉、落ち葉、刈り草
など



花や木の元気な生長



↑プラスチック容器包装材には、
このプラマークがついています。
プラマークをよく確認して、さっ
と洗って出してください。

「プラスチック製品」でも、プラスチック 容器包装材とは限りません。



↑実際にプラスチック容器包装材に混じって出され
た「燃やさないごみ」です。

洗面器、バケツ、おもちゃ、ざる、三角コーナー、
フロッピーディスク、CD、MD、波板、植木鉢、
ロープ、荷造り用ひも等の「プラスチック製品」は、
「燃やさないごみ」の日に出してください。

◆施設見学しませんか！

・ところ：長岡市西陵町 環境資源開発(株)
・連絡先：0258・21・5525
・担当：鈴木課長



この施設は、容器包装
リサイクル法により、市
が回収した「プラスチック
容器包装材」を、(財)日
本容器包装リサイクル協
会に引き渡すため、選別
圧縮↓梱包↓保管をして
いる民間の処理施設です。

●●●お知らせ●●●

長岡市が発送する窓明封筒の窓部分は、紙
(グラシン紙)でできていますので、取ら
ずにそのまま「雑誌・チラシ」に出すこと
ができます。

「新聞、雑誌・チラシ、段ボール」は、
ひもで縛って出してください。ビニール袋
や大きな紙袋には入れないでください。



この封筒は窓部分も紙でできていますので
リサイクルが可能です。



▲町内会が独自に看板を設置し、 種類ごとに分別されている寿3丁 目のごみステーション

皆さんから分別していただいた
ごみと資源物は、種類ごとに別々
の車で収集しています。

ごみステーションでは種類ごと
に分けて置いていただくようにご
協力をお願いします。

「分別方法の変更を前に、どうしたら間違えずに
出せるかを町内会で話し合い、独自の看板を作成す
ることにしました。そして、昨年10月から町内会長
をはじめ、町内会の役員や環境美化推進員を中心
にごみステーションでの立哨指導などを毎朝行なった
結果、違反ごみはほとんど無くなりました。町内の
皆さんの協力により、ごみステーションが清潔に保
たれています。」

◆ごみと資源物の分別に町内会で取り組ん
でいます。
◆寿3丁目町内会にお聞きしました。